



第3回太平洋・島サミット本会議（第2セッション）

太平洋地域と我が国の首脳が一堂に会し、意見交換を行う第3回太平洋・島サミットが万国津梁館で開催された。太平洋諸島フォーラムに加盟する十三カ国二地域の首脳と我が国から小泉総理が来県し、安全保障、保健・衛生、教育・人材育成、環境等が議題に取り上げられ、それぞれの課題への取り組みについて、白熱した議論が交わされた。

全てのセッションが終了した後、首脳会議の成果をまとめた「沖縄イニシアチブ」が採択され、今後の我が国と太平洋地域との交流や協力の方針が確認された。その中で、来年の国際珊瑚礁シンポジウムの沖縄開催が盛り込まれるなど、本県にとっても実りの多い会議となった。

第3回太平洋・島サミット開催



万国津梁館・サミットホール前での記念撮影



共同記者会見でのガラセ議長と小泉首相

クブイリチー

じっくり煮込んで、しっとり味に仕上げよう。

沖縄では、イリチーや汁物、煮付けなどによく昆布を使います。法事などの重箱料理にも昆布が入っていますし、古くから昆布は沖縄の人々の食卓に欠かせない食材だったことが分かります。

昆布の産地は、約九割が北海道で、沖縄ではまったく収穫されないものですが、なぜか沖縄は昆布の消費量が全国でも上位に位置する昆布消費県なのです。

昆布は、ミネラルやカルシウム、鉄、ナトリウム、よう素などの無機質を豊富に含み、食物繊維も豊富なため、健康維持に効果的。沖縄の長寿を育んできた食材といえます。



材料(5人分)

昆布(乾燥)	70g
(もどしたものをなら300g)	
豚三枚肉	150g
こんにゃく	100g
かまぼこ	50g
油	大さじ3+1
しょうゆ	大さじ3.5~4
酒	大さじ1
砂糖	大さじ1~2
だし	3.5カップ
みりん	大さじ1
塩	少々

作り方

- ①昆布は5分くらい水にもどし、1枚ずつきれいに砂を落としながら洗う。布巾で水気をふいて1本だけ残し、あとはまとめてびょうぶだたみにし、その周囲を、残しておいた昆布でクルクル巻いて固い棒状にまとめ、長く連ならないように薄せん切りにする。既製のせん切り昆布(イリチー用)を使うと便利。(※市場などで購入可能)
- ②豚三枚肉はゆでて細めの短冊に切る。
- ③こんにゃくは細めの短冊に切つてゆでておく。
- ④かまぼこも細めの短冊に切る。
- ⑤鍋に分量の油を熱し、しょうゆを入れてジュッと音をたてて焼き、酒、砂糖を入れて煮立て、豚三枚肉とこんにゃくを入れ、味を浸透させたら取り出しておく。
- ⑥残った煮汁に油を大さじ1杯加えて昆布を入れて混ぜ、だしを数回に分けて入れ、みりんを加え、昆布が柔らかくなるまでゆっくり煮込む。
- ⑦途中でいったん取り出した豚三枚肉とこんにゃくを加えて更に煮込み、かまぼこを入れて最後に塩で味を整える。

※昆布がカラカラに乾かないようにだしを適度に加えながら煮て、しっとりした味に仕上げましょう。

参考文献:『食品と料理 おきなわの味』
外間ゆき・松本嘉代子著

「知事へのたより」

県民の皆様の意見を県政に活かすため、ご提言をお待ちしています。送付の際は、氏名、住所、電話番号を明記し、下記の住所へ郵送、もしくはFAX、E-MAILにてお送り下さい。

送付先及びお問い合わせ
沖縄県総務部知事公室広報課
〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2
TEL (098)866-2020
FAX (098)866-2467
E-mail kouhou@pref.okinawa.jp

インターネットで県政情報にアクセス!
沖縄県ホームページアドレス
<http://www.pref.okinawa.jp/index-j.html>

表紙「灯台のある風景2」喜屋武岬灯台(糸満市)
灯台は喜屋武岬の約30メートルの断崖上に建っている。岬一帯は沖縄戦の激戦地であった。戦後、岬周辺の遺骨は収集され、平和の塔が建立されて、その御霊を祀っている。
断崖に立つと、明るい海が広がり、打ち寄せる波の音が途切れることなく聞こえる。

CONTENTS 美ら島沖繩

2003.6
No.333

県政クローズアップ 第3回太平洋・島サミット開催	3
県政フラッシュ 太平洋・島サミット首脳を県挙げて歓迎 ほか	4
特集1 平成15年度 新しい県の主要事業	6
特集2 Wonder沖縄を知ってますか?	14
OKINAWA 人 最前線 石原絹子(いしはら・きぬこ)さん	16
沖縄の美しい海の宝石達「ハクマノミ」 文・写真/横井兼典(よこい・けんすけ)	18
県のうごき1 「沖縄県男女共同参画推進条例」を制定しました	20
県のうごき2 第3回太平洋・島サミット開催	24
新・おきなわ探訪 石川市・闘牛に燃えるまち	26
こどもぎやらりー 大湾ひかり(おおわん・ひかり)さん	29
情報ひろば	30
あまからくまからほっライン 石垣市/嘉手納町	32